

【成年男女の部】

- 1 最終選考会において代表選手5名並びに補欠選手を選考する。
 - ・最終選考会参加者選出基準
 - ダブルス：国スポ1次、2次選考会、県総合選手権 各上位2ペア
 - シングルス：全日本シングルス県予選、国スポ1次、2次選考会 各1位の選手
- 2 選考会の開催方法は、各カテゴリーと強化委員会において協議し決定する。
- 3 選考会に参加出来なかった選手は、当該年度において各カテゴリーにおける知名度の高い他大会において、相応な成績を残すなどの基準を有している等を参考として、連盟推薦として最終選考会への選手の参加を推薦する。

【少年男女の部】

- 1 下記大会での成績をポイント化する。（ストレートの種別はインターハイの結果も参考にする）
 - ・県高校シングルス選手権 ・国スポ1次、2次選考会 ・県高校総体
- 2 各大会の上位入賞者に以下のポイントを付す。
 - 1位：4ポイント 2位：3ポイント ベスト4：2ポイント
- 3 最終選考会を行い、上記累積ポイントを参考に選手を選考する。
 - 各選考会で一度も上位の結果を残していない選手については、選考対象外とする。
- 4 1で定めたポイントを基に、少年男女監督・コーチ合議のもと総合的な視点に基づき代表選手5名並びに補欠選手を選考する。
 - ・国スポ2次選考会への参加選手選考基準
 - (1) 県高校シングルス選手権 上位各種別4名
 - (2) 国スポ1次選考会 上位各種別4ペア
 - (3) 県高校総体 各種別個人戦上位各6ペア
 - (4) 北信越体育大会 各種別個人戦ベスト16以上並びに入賞ペア
 - (5) 国スポ各地区2次選考会予選会 各種別上位4ペア
 - (6) その他相応の実績がある等の理由により県連盟から推薦されたペア
 - ・その他基本的事項に定める事項以外については、別途協議のうえ決定する。
 - ・いずれの種別も選考結果を県連（担当：強化委員長）あてに報告し承認を得ること。